

仙北市訪問型移動支援サービス D「おでかけおたすけ隊」の団体を募集します

包括支援センターでは、通院や買い物（市内の医療機関・店舗に限る）の移送前後の付き添い支援、また、集いの場への移送前後の付き添い支援を行う団体を募集します【訪問型サービス D 事業（おでかけおたすけ隊）】。

● 補助金の対象団体／

◎ 次の条件すべてに該当する方

仙北市に住所を有する団体であること。

◎ 次の①から④までのいずれかに該当する団体であること。

① 地域住民が主体となり地域に根ざした活動を行っている団体

② 社会福祉法人

③ 特定非営利活動法人

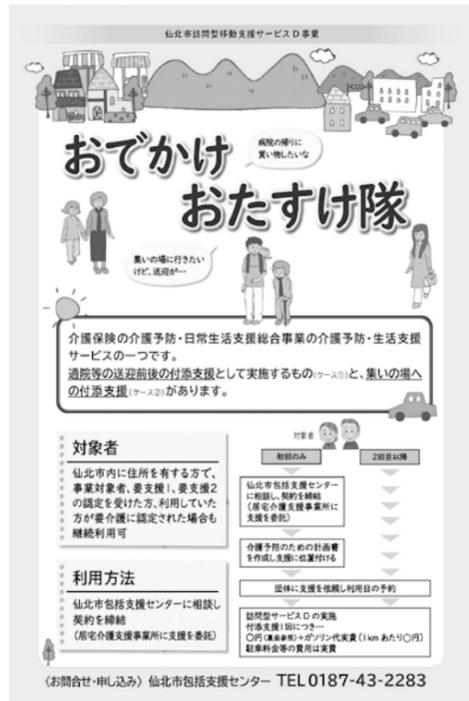
④ その他市長が適当と認める団体

● 事業内容／

◎ 65歳以上の高齢者で、原則として要支援1・2の認定を受けている方、基本チェックリストの結果、事業対象者に該当する方、継続要介護者を対象に、通院やそれに伴う買い物をする場合の移送前後の付き添い支援。また、集いの場への移送前後の付き添い支援も行います。

● 募集期間／5月1日から令和8年2月末まで随時受付

● 申請方法／電話で包括支援センターまでご連絡をお願いします。その後詳細につきましてご説明します。



問合せ／包括支援センター（角館庁舎）
☎ 43-2283

劇団ひこばえ 3期生修了公演

3月16日(日)、65歳から83歳までのシニアの皆さんによる劇団ひこばえ3期生の修了公演「みんなのふるさと物語 in 秋田」が行われました。都会から失意でふるさと秋田へ帰ってきた女性が、家族、幼馴染、近隣住民、森の仲間たちと過ごす中で成長していく物語です。

当日は立ち見、追加席が出る100人以上の超満員で、演じる皆さんは60～80代とは思えないほどパワフル！ダンスあり、ソロの歌唱あり、全員での合唱ありの大笑いの舞台は、出演者全員による勇壮な豊年太鼓でしめられました。

令和4年度から始まったこの取り組みは秋田大学高齢者医療先端研究センターとわらび座が協力し、高齢者の認知症予防と社会的フレイル予防に効果があると確認されています。



問合せ／包括支援センター（角館庁舎） ☎ 43-2283

介護予防に関する活動を支援します !!

包括支援センターでは、介護予防に関する活動を行っている、または始めようと考えている団体に対して補助を行います。

健康づくりや居場所づくりをしたい皆さまの申請をお待ちしております。

● 対象団体／

▶ 市内に住所がある団体やサークルなど
※過去に3年間補助を受けたことがある団体は対象とはなりません。詳しくはお問い合わせください。

● 活動内容の一例／

▶ 概ね65歳以上の方に参加してもらい、介護予防のための運動や、お茶会や趣味の会を行う。

● 募集期間／4月1日(火)から令和8年2月末まで随時受け付けます。

● 補助金額／

▶ 1団体あたり10万円を上限とし、最大3年までを限度とします。

(ただし、昼食・弁当、懇親会費、団体の財産となるような備品は対象外とします)

● 申請方法／

▶ 電話で包括支援センターにご連絡をお願いします。

▶ その後に、申請必要書類をお渡しします。申請のお手伝いもします(申請書、活動内容、予算書、会則、構成員名簿)。

● その他／

▶ 申請書類を包括支援センター内で審査し、結果を代表者に通知します。

▶ 補助金以外のことで、団体活動に関する相談を受け付けています。

まずはお気軽に包括支援センターにお問い合わせください。



問合せ／包括支援センター（角館庁舎）
☎ 43-2283

市民の方による自主的な活動の場づくりに対し補助を行います (生き生きさぽ〜と事業)

包括支援センターでは、市内で事業対象者・要支援を含む市民が定期的に通うことができる場を設ける団体に対し、運営に係る経費を支援します【通所型サービス B 事業(以下、生き生きさぽ〜と)】。

● 活動内容の要件／

① 高齢者の閉じこもり予防や交流、生きがいなどを持ってもらえる活動。

② 参加者の状態改善や維持につながる体操や運動を取り入れること。

③ 原則、月2回以上で1回の活動時間がおおむね1時間以上であること。

④ 活動内容、開催場所、開催日時などについて市が公表することに同意すること。

⑤ 仙北市生活支援コーディネーターと必要時応じて連携し、事業を推進すること。

● 募集期間／5月1日から令和8年2月末まで随時受付

● 補助金額／

▶ 立ち上がりにかかる費用／1団体あたり上限20,000円

▶ 運営に係る費用／年間あたり上限100,000円 (『飲食代・食材費など』『構成員に対する報酬等人員費』『交際費、慶弔費、親睦会費などの補助事業と直接関係のないもの』『事業に直接関係のない視察または研修に係るもの』は対象外とします。)

● 申請方法／

▶ 電話で包括支援センターに連絡をお願いします。

▶ その後、詳細について説明し申請必要書類をお渡しします。申請のお手伝いもします。

● その他／補助金以外のことで、団体活動に関する相談を受け付けています。まずはお気軽に包括支援センターにお問い合わせください。

問合せ／包括支援センター（角館庁舎）
☎ 43-2283

泳がない水中教室 「浮き浮き教室」を開催します

包括支援センターでは、温泉プールを利用した「浮き浮き教室」を開催します。膝や腰の痛みを軽減しながら運動することができ、筋力アップが期待できます。

参加者からは、「運動を楽しく行え、爽快感があった」、「血圧が安定した」、「体力・筋力がついた」、「体調がよくなった」、「運動仲間ができた」、「肩こり・膝の痛みが軽くなった」などの感想が聞かれています。お申し込みをお待ちしています。

- 場所/西木温泉ふれあいプラザクリオン3階プール
 - 講師/スポーツコンサルタントシバタ 柴田 栄宜 先生
 - 対象/65歳以上の方で、水中運動をされていない方
 - 日時/▶1クール目 5月27日(火)～7月22日(火)
 - ・火曜日 9:30～10:30
 - ▶2クール目 7月24日(木)～10月16日(木)
 - ・木曜日 18:00～19:00
 - ▶3クール目 10月7日(火)～12月1日(月)
 - ・概ね月曜日 9:30～10:30
 - ▶4クール目 12月11日(木)～2月12日(木)
 - ・概ね木曜日 9:30～10:30
- ※開催日が休館日または祝日の場合は曜日を変更して開催

浮き浮き教室

※初回と最終回は通常開始時間の30分前開始。(9:00または17:30)

- 持ち物/水着、水泳帽、バスタオル、飲み物、プール料金400円(75歳以上の仙北市民はプール料金が無料になります。保険証や運転免許証などをフロントに提示してください。)
- 申し込み/申し込みは包括支援センターまで。随時受け付けします。申し込みされた方には後日詳しい内容をご連絡します。



問合せ/包括支援センター(角館庁舎)
☎ 43-2283

高齢難聴者の補聴器購入費の一部を助成します

加齢による聴力低下へ早期に対応し、社会交流を図りながら住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、難聴で生活に支障が生じている高齢者を対象に、補聴器購入費の一部助成を実施しています。詳細については、電話または最寄りの申請窓口にご確認ください。

- 助成対象者(①～④のすべてに該当する方)/
 - ①仙北市に住所を有し、満年齢が65歳以上の方
 - ②耳鼻咽喉科の医師より、補聴器の必要性を認める意見書を得ることができる方
 - ③原則として両耳の聴力が40デシベル以上である方
 - ④聴覚障がいによる身体障害者手帳の交付を受けていない方

- 助成の内容/
 - ▶市民税課税の方は2万円、市民税非課税の方は2万5000円を上限とし、補聴器購入費の2分の1(両耳であっても1台分のみ)を助成します。
 - ▶受診、検査費用および文書料、送料などは自己負担です。
- 申請窓口/長寿支援課または田沢湖・西木市民センター、各出張所
- その他/
 - ▶予算額に達し次第、申請受付を終了します。
 - ▶所定の医師の意見書なく購入された補聴器は対象外です。

問合せ/長寿支援課(角館庁舎)
☎ 43-2281

胃がん検診(胃内視鏡検査)を開始します

問合せ/保健課(角館庁舎)
☎ 43-2252

令和7年度から仙北市では次の方を対象に、胃がん検診(胃内視鏡検査)を開始します。

- 対象者/今年度51、53、55、57、59歳になる方
- 検診内容/医療機関で問診と胃内視鏡検査を行います。
- 検診料金/2,000円
- 持ち物/マイナ保険証等資格情報が確認できるもの、検診料金、受診券など

- 申込期間/5月14日(水)～5月23日(金)
- 申込先/仙北市保健課
- 注意事項/申込制になります。期間内に保健課まで電話にて申込をお願いします。同年に胃部X線検査を受診予定の方は対象になりませんのでご注意ください。

市立角館総合病院でのがん検診について

予約期間は
5月22日(木)から!

- 【受けることができるがん検診】
- ①肺がん等検診(CT検査)
 - ※40歳～70歳の偶数年齢の方(年度年齢)
- ②子宮頸がん検診
 - ※20歳～40歳の女性、41歳以上の偶数年齢の女性
- ③乳がん検診
 - ※40歳以上の偶数年齢の女性

- 予約方法/
 - ①電話で希望の検診をお伝えください。
 - ②氏名、生年月日、住所、電話番号、保険種別をお伝えください。
- 予約先/市立角館総合病院医事課 ☎54-2145(直通)
- 予約受付時間/13:00～16:00
- ※詳細は仙北市健(検)診ガイドをご覧ください。

検診名	予約受付期間	検診期間	受付時間	諸注意	料金
肺がん等検診(CT検査)	5月22日(木)～12月4日(木)	6月5日(木)～12月18日(木) 【木曜日のみ】	14:30～14:45	集団健診のレントゲン検査と角館総合病院のCT検査を重複して受診することはできません。人間ドックを受診した方も受診できません。	2,000円
子宮頸がん検診	5月22日(木)～1月6日(火)	6月9日(月)～1月20日(火) 【月・火曜日のみ】	12:30～13:00	待ち時間が長くなる場合がありますので、受診日は余裕をもってお越しください。	3,000円
乳がん検診					1,800円(注1)
					40歳代 2,500円 50歳以上 2,000円

- 注意事項/
 - (注1) 統一受診券利用の方のみ、料金が1,800円になります。
 - 肺がん等検診(CT検査)は、対象年齢を40歳～70歳までの偶数年齢の方としています。予約枠に限りがあります。定員になり次第、予約受付期間内であっても締め切りとなる場合がありますので、ご了承ください。
 - ※やむを得ずキャンセルする場合は、必ず病院へ連絡をお願いします。不明な点は保健課まで(☎43-2252)

オレンジカフェ(認知症カフェ)を開催してみませんか?

問合せ/包括支援センター(角館庁舎)
☎ 43-2283

オレンジカフェ(認知症カフェ)は、認知症になっても安心して暮らし続けることができるよう、誰もが集い交流できる場所がオレンジカフェです。仙北市では、オレンジカフェを開催する団体などに補助を行います。開催に興味のある方は、お気軽に包括支援センターまでご相談ください。

- 申請受付期間/5月1日(木)～15日(木)
- 補助金額/10万円を上限に予算の範囲内で補助します。
- 実施期間/7月～令和8年2月
- ※原則定期的に開催。

栄光・表彰 ～輝くとき

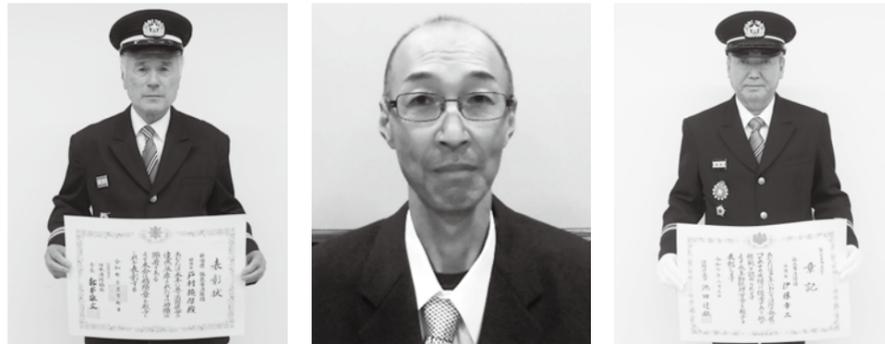
各分野で活躍された皆さまをご紹介します

(敬称略)

消防庁長官表彰・日本消防協会長表彰

3月25日に令和6年度 消防功労者表彰式が行われ次の方々を受章されました。

- ▶消防庁長官表彰 永年勤続功労章 消防団本部 副団長 本田清治／第4分団 分団長 伊藤幸二
- ▶日本消防協会長表彰 精績章 前消防団本部 副団長 戸村純厚／第4分団 分団長 伊藤幸二



写真左から戸村さん、本田さん、伊藤さん。

男女共同参画チャレンジ賞

- ▶個人の部 林崎栄美
- ▶企業・団体の部 株式会社メンズアキタソーイング



写真左から林崎さん、田口市長、(株)メンズアキタソーイング 高橋代表取締役。

男女共同参画チャレンジ賞とは、男女共同参画社会づくりの実現に向けて、仙北市の男女共同参画の推進に貢献してきた方を表彰するものです。

林崎さんが経営する食堂「舞桜」では、毎月子ども食堂を開いており、地域で活躍する女性のモデルになっています。

株式会社メンズアキタソーイングは、昨年10月に仙北市で初となる「えるぼし認定企業」に選ばれました

一般社団法人秋田県バスケットボール協会

- ▶2024年度 優秀選手賞 草薨こまち



草薨こまちさんがU18 優秀選手賞(高校男女各1人)を受賞しました。草薨さんは湯沢翔北高校女子バスケットボール部主将として全国大会に出場し、秋田県高校女子で7年振りの勝利に貢献しました。

- ▶会長表彰 個人 八柳司



多年にわたり土地改良事業の推進に尽力され、地域農業の発展に貢献された功績を評価されました。

せんぼく健康ハッピー大作戦(ポイント事業)が始まります

保健課では、市民の皆さまの健康づくりを応援する健康ポイント事業を実施します。

保健課、包括支援センター、国保市民課で実施する健康教室に参加したり、市や職場で行っている健(検)診を受診したり、毎日自分で計画した健康づくりに取り組むことでポイントがもらえます。

専用の記録表にポイントを集め応募すると、抽選で景品が当たります。たくさんの方の参加をお待ちしています。

- 対象者／18歳以上の仙北市民(市外在住の仙北市に勤務されている方も参加できます)
- 実施期間／5月1日(休)～令和8年2月27日(金)
- 応募締切／令和8年3月6日(金)

問合せ／保健課(角館庁舎) ☎43-2252



ハッピー大作戦事業はこのマーク(はつらつちゃん)が目印です

- 抽選日／令和8年3月中旬
- 景品／抽選で100名の方に商品券をプレゼントします。
- ポイント記録表の発行場所／保健課、包括支援センター、国保市民課、西木市民センター、田沢湖市民センター、各出張所、各公民館 ※仙北市のホームページからもダウンロードできます。

ダウンロードはこちら(仙北市ホームページ) →



あなたの相談を親身にお聴きします こころの相談

病気や健康、家族問題、からだやこころの悩み、人間関係、仕事や生活の不安、子育て、近隣関係などひとりで悩まないで、声を出してみませんか。話せるところから、ゆっくり話してみませんか。

- ▶角館庁舎／5月1日(休)午後のみ、12日(月)、16日(金)午前のみ、26日(月)
- ▶相談時間／午前／①10:00～②11:00～午後／③13:30～④14:30～
- ▶相談方法／1回50分 面談または電話(要予約・相談無料 ※秘密厳守)
- ▶問合せ／保健課 ☎43-2252

「かだれ！」

傾聴ボランティア・集いの場

一緒にお茶を飲んだり、認知症予防ゲームを楽しんだり、やりたいことをやりましょう！開催時間内に個別にお話(相談)をお聴きします。遠慮なくお越しください。今、私たちが取り組んでいるのは、集まった人たちでお互いの「安否確認や困ったときに駆け付けられる体制づくり」を進めています。

「かだれ！」は、皆さんのお越しをこころからお待ちしています！

- ▶開催日／5月14日(水)、28日(水)10:00～15:00
- ▶場所／健康増進センター(田沢湖病院併設) 調理室・栄養相談室
- ▶参加費／100円(昼食は各自でご持参ください)
- ▶内容／保健師による血圧測定、健康相談、認知症予防体操、ゲームなど
- ▶相談／心理カウンセラー(相談無料/秘密厳守)
- ▶問合せ／小松まで ☎090-2975-3450

若者の居場所 若者同士で交流しましょう

「若者の居場所」とは、心の重荷を下ろす場所です。辛い、苦しい、不安、眠れない、家にいても居心地が悪い、社会の中で生きづらいつ感じているすべての若者が対象です。一緒にお茶を飲んだり、おやつを食べたり、ちょっとしたゲームをしながら若者同士で交流しましょう。ぜひひとりで抱え込まず、まずは足を運んでください。お待ちしております。

- ▶開催日／5月20日(火)
- ▶場所／角館交流センター(和室) ※無料・予約不要
- ▶時間／14:00～16:00
- ▶主催／NPO法人KOU(あきた若者サポートステーション運営団体)
- ▶問合せ／大屋みはる ☎018-853-4367

傾聴ボランティア えくぼの会

心に溜まったことや、気になること、心配なことなどを話してみませんか。傾聴ボランティア「えくぼの会」では、ゆっくりお茶を飲みながら、会員が悩みなどをお伺いして、一緒に考えていきます。開催時間内の都合のよいときにお気軽にお越しください。

- ▶開催日／5月21日(水)
- ▶場所／角館交流センター(※参加無料)
- ▶時間／10:00～14:00
- ▶参加費／無料
- ▶問合せ／保健課 ☎43-2252



感謝状を受け取った鐘さん(写真左)と中山さん(写真右)

仙北市地域おこし協力隊として活動してきた鐘偉倫さん(令和2年8月着任)と中山里沙さん(令和2年9月着任)が、3月31日に任期を終え、田口市長から感謝状が贈呈されました。着任当初は新型コロナウイルス感染症の影響により制約を受ける中での活動となりましたが、鐘さんは、SUP(スタンドアップパドルボード)、スキー、スノーボードなどの各種アクティビティガイドを通じて外国人旅行者の誘致促進に取り組みました。中山さんは、観光協会と連携したDMO(観光地域づくり法人)の形成と確立など観光地域づくりの基盤整備の推進に取り組まれました。

2人からは、これまで関わってくれた多くの皆さまへの感謝の気持ちが伝えられました。2人は今後も、仙北市でそれぞれの活動を展開していきます。

地域おこし協力隊退任

鐘偉倫さんと中山里沙さんに感謝状

中山里沙さんに感謝状



令和6年度 仙北市スポーツ賞

- ▶**栄光賞** 鈴木千寛(陸上競技)／岡田拓己(スキー)／佐々木碧波(同)／森下つぼ実(同)／橋倉蒼依(同)／田口朱実(弓道)／伊藤雅英(ソフトテニス)／澤山輝和(同)／高橋優斗(同)／高藤久晴(同)／武藤晋(同)／草薮こまち(バスケットボール)
- ▶**奨励賞** 小野夏七斗(スノーボード)／藤元皇誠(柔道)／田口垂依(サッカー)／柴田優星(野球)／菊地華(水泳)／齋藤ことみ(キッズダンス)／長谷川祐大(同)／佐藤伊咲季(柔道)／清水健真(スキー)／佐藤亜耶希(柔道)／木元晴樹(水泳)／佐藤来樹(同)／門脇康一郎(同)／鈴木聖(同)／小松大斗(ブレイキン)／細川依愛(テニス)／花脇緋士(空手)／新田淳仁(同)／湯澤蓮(同)／高橋凜(同)／新田悠仁(同)／佐々木雄(同)／千葉里燈人(弓道)／細川脩(同)／真崎那菜(同)／明平柊太(同)／木村光来(水泳)／菊地心(同)
- ▶**団体栄光賞** 角館高等学校弓道部女子団体(弓道)《三浦芽依・山谷紗央・鈴木ともち・草薮陽菜・伊藤希彩・永山心媛・新田穂乃華》
- ▶**団体奨励賞** 神代中学校(スキー)《清水健真・津嶋柚汰・清水瑛太・八柳璃空》
- ▶**指導者賞** 鈴木峻(水泳)／戸村久(バスケットボール)
- ▶**普及振興賞** 野中国男(野球)／木元美禪(空手)／羽崎妙子(水泳)／三浦明美(同)

株式会社 瀧神巧業

健康経営優良法人ネクスト

ブライイト1000に認定

3月10日、株式会社瀧神巧業が、経済産業省と日本健康会議が主催する「健康経営優良法人2025(ネクストブライイト1000)」に認定されました。

この認定制度は、従業員の健康管理を経営の視点から積極的に取り組んでいる企業を評価し顕彰するものです。全国で19,796法人が「健康経営優良法人(中小企業部門)」に認定され、中でも特に優れた1,000法人にのみ「ネクストブライイト1000」の称号が与えられました。

秋田県内では全業種合わせて161社が認定を受けましたが「ネクストブライイト1000」に選ばれたのは、わずか6社で全体の約3.73%に該当。さらに、建設業において秋田県内で唯一、同社のみがこの栄誉を受けました(全国の新設業の中でもわずか約0.02%)。

同社では、社員の健康づくりを支援するため「部署別・個人別の平均歩数ランキング」を年1回実施し、上位入賞者には賞品を贈るなど、楽しみながら健康を意識できる取り組みを行っています。また、4年前からはフリーアドレスオフィスを導入し、部署を超えたコミュニケーションがしやすい職場環境づくりにも力を入れています。

佐藤代表取締役は、「今後も健康で活力ある職場を目指して、より一層力を入れていきたい」と意気込みを語りました。



第97回選抜高校野球大会

浅利卓美さんが

甲子園球場で堂々とジャッジ

秋田県野球協会審判部技術指導員の浅利卓美さん(西木町)が、3月18日から兵庫県西宮市の甲子園球場で行われた「第97回選抜高校野球大会」へ審判員として、秋田県から8年ぶり・県南では初の派遣となりました。

大会初日の花巻東高校と米子松陰高校の2塁審をはじめ計3試合を担当し、「今季最初の公式戦が甲子園球場での試合で最初はどうなるか不安だったが、次第に緊張がほぐれ周りをみて動くことができた。満員の甲子園球場は、今まで感じたことがないほど一投一打への歓声がすごかった」と振り返りました。

浅利さんは平成20年に野球審判員2種を取得し、その後全国大会を担当できる1種を取得。社会人、大学や高校野球など毎年5〜60試合を担当しています。近年、審判員の高齢化などにより審判員が不足し、熱中症が心配される真夏でも1日複数の試合を担当せざるを得ない非常に大変な状況です。浅利さんは「興味がある方はぜひ審判員資格を取得し、将来プロ野球選手になる可能性を秘めた地域の野球選手のために私たちと共に頑張りたい」と話しました。



大舞台の甲子園球場で審判員を務める浅利さんの様子。



3月31日、市役所角館庁舎に報告で訪れた浅利さん(写真中央)と北仙北高橋支部長(写真右)。

秋田内陸線の持続的運行に向けて

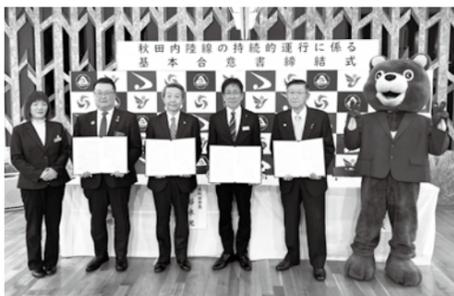
基本合意書締結式が行われました

3月17日、秋田内陸線阿仁合駅を会場に、秋田内陸線の持続的運行に係る基本合意書締結式が開催されました。

この合意書は、国から認定を受けた鉄道事業再構築実施計画に基づき、鉄道事業者の経営目標など基本的な事項について、これまで協議を重ねてきた秋田県、北秋田市、仙北市および秋田内陸縦貫鉄道株式会社が合意した内容を書面を取り交わしたものです。合意書における同社の経営目標(自治体からの補助金額)は、現行の1億9,500万円から、再構築事業の実施により令和7、8年度は1億6,500万円に、さらにはその後の収支改善により、令和9年度から16年度までは1億4,800万円へと縮減され、仙北市の負担額も現行に比べて令和7、8年度は600万円、令和9年度以降は、さらに539万円の減となります。

一方で、県と両市の補助金負担を減らしながらも、鉄道事業再構築実施計画に基づく国からの支援などを活用することで、鉄道事業者は収支改善および安全運行の確保を、県は鉄道施設の大規模改修や維持管理、市への財政的な支援を、北秋田市と仙北市は運営費の補助や日常利用・観光利用の促進などを担い、引き続き内陸線を支えていくことを確認しました。

この基本合意書の効力は、令和7年4月1日から10年間となります。



(一社) 秋田県仙北建設業協会と同協会建友会がホワイトボード付きパーティション2枚を寄贈



高橋会長 (写真右) から須田教育長へ目録が手渡されました。

3月17日、一般社団法人秋田県仙北建設業協会と同協会建友会より市内の子どものための教育に役立ててほしいと、特別支援学級の子どもたちにホワイトボード付きパーティション2枚を寄贈いただきました。

西木庁舎に訪れた健友会の高橋会長は「少子化が進むなか、子どもたちの将来のために役立ててほしい」と話しました。

生保内交通安全協会から黄色い帽子と傘を寄贈いただきました



4月9日、生保内交通安全協会生保内支部から生保内小学校の新1年生21人に交通安全を願い、黄色い帽子と傘を寄贈いただきました。

この取り組みは、交通安全運動の一環として行われ、目立ちやすい黄色を身につけることで、児童がドライバーから見えやすくなり、事故防止に効果を発揮します。

贈呈式では2人の児童が代表して寄贈品を受け取り「ありがとうございます」と元気に感謝の言葉を伝えました。

仙北水力発電株式会社から寄付金をいただきました

田沢湖地区で水力発電所を運営している仙北水力発電株式会社から、地域の振興・活性化に資する活動に使用することを目的とした地域振興基金として、120万円の寄付をいただきました。

寄付金額は、令和5年3月から締結している協定に基づき、毎年の売電収益の状況により決定され、令和23年度まで、毎年度ご寄付いただく予定になっています。

(百寿) おめでとう ございます

門脇コンさん

4月15日、門脇コンさん(角館町田町下丁)が100歳の誕生日を迎えられ、仙北市からお祝いが贈られました。



コンさん(左)にお祝いと花束が贈られました。

作品に思いを込めて

佐藤芽生さん 卒業制作をプレゼン

3月24日、東北工業大学4年生(3月時点)の佐藤芽生さんが、自身が作成した卒業制作ジオラマ「ぬぐだまる・日常と角館町伝統文化との結節点」を、田口市長に発表するため田沢湖庁舎を訪れました。

佐藤さんは大学で福祉空間分野を専攻。秋田県の人口減少問題を取り上げ、地域活性化に向けた提案や地域の魅力を作品に詰め込みました。

花紀行開幕

角館の桜まつり2025

4月15日から5月5日まで、角館の桜まつりが開催されています。

4月15日の開会式は、あいにくの悪天候に見舞われたため、角館榊細工伝承館で開催。地元の関係者や来賓による挨拶の中で、赤上副市長が「今年は松木内川堤の桜並木が国名勝指定から50周年を迎える。多くの方にきれいな桜を見てもらいたい」と話しました。

その後、関係者一同で鏡開きを行い、桜まつりの成功と地域の繁栄を祈願しました。

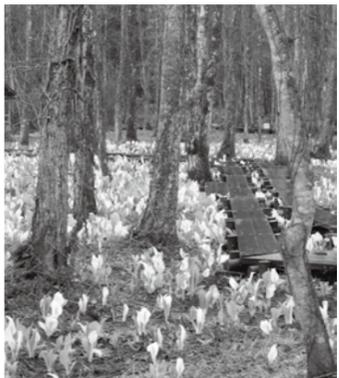
開会式の後は、仙北市の観光大使

湿原に咲く幻想風景

刺巻水ばししょう祭り

4月12日から刺巻水ばししょう祭りが行われ、県内外から春の訪れを楽しむ方々が賑わいました。

清らかな水面と水ばししょうの純白の美しさが一面に広がりました。



4月15日撮影時の開花状況。



佐藤さん(写真左)と田口市長。



関係者による鏡開き。



小桜舞子ステージショーでは観客と握手をしながら歌唱する場面も。